

平成17年5月31日

## カーディフ・アシュアランス・リスク・ディヴェール 平成16年度決算のご報告

カーディフ・アシュアランス・リスク・ディヴェール(通称:カーディフ損害保険会社、日本における代表者:青木 淳、本社所在地 :東京都渋谷区桜丘町20-1渋谷インフォスタワー9階)は、5月31日、平成16年度(平成16年4月1日～平成17年3月31日)の業績を発表しました。

### 業績ハイライト

平成16年度における業績は以下の通りです。

- ◆ 正味収入保険料は、222百万円を計上しました。
- ◆ 税引前当期純損失は、4百万円を計上しました。
- ◆ 平成17年5月31日現在、商品提供先は、  
銀行20行、ノンバンク6社に増加しました。

なお、本冊子に関するお問い合わせは下記までお願いいたします。

カーディフ損害保険会社 マーケティング・営業部 堺

電話 03-6415-6345

平成 17 年 5 月 31 日

## 平成 16 年度決算報告

カーディフ・アシュアランス・リスク・ディヴェール（通称：カーディフ損害保険会社、日本における代表者：青木 淳、本社所在地：東京都渋谷区桜丘町 20-1 渋谷インフォスター9 階）の平成 16 年度（平成 16 年 4 月 1 日～平成 17 年 3 月 31 日）の業績を報告します。

### <目 次>

1. 主要業績	2 頁
2. 平成 16 年度資産運用状況	2 頁
3. 貸借対照表	3 頁
4. 損益計算書	5 頁
5. 債務者区分による債権およびリスク管理債権の状況	6 頁
6. ソルベンシー・マージン比率	6 頁

# 平成 16 年度決算報告

## 1. 主要業績

(1) 保険料及び保険金一覧表 (単位：百万円、%)

種 目	正 味 収 入 保 險 料	構 成 比	対 前 年 比	正 味 支 払 保 險 金	構 成 比	対 前 年 比
傷 害	99	44.7	61.7	8	41.8	105.8
費用利益	123	55.3	35.0	11	58.2	113.9
計	222	100.0	43.4	19	100.0	110.4

(2) 元受正味保険料 (単位：百万円、%)

種 目	金 額	構 成 比	対 前 年 比
傷 害	99	44.7	61.7
費 用 利 益	123	55.3	35.0
計	222	100.0	43.4

(注) 積立収入保険料はありません。

(3) 主要収支項目 (単位：百万円、%)

区 分	平成 15 年度	平成 16 年度	
			対前年比
保 險 引 受 収 益	532	283	53.1
( 収 入 保 險 料 )	513	222	43.4
資 産 運 用 収 益	0	0	106.7
保 險 引 受 費 用	143	75	52.5
資 産 運 用 費 用	-	-	-
経 常 損 失	△147	4	-
当 期 未 処 理 損 失	△26	15	-

(4) 総資産 (単位：百万円、%)

区 分	平成 15 年度	平成 16 年度	
			対前年比
総 資 産	802	573	71.5

(注) 主要業績中における各保険料の定義は下記のとおりです。

- ① 正味収入保険料 = 収入保険料 - 支払再保険料
- ② 元受正味保険料 = 元受保険料 - (元受解約返戻金 + 元受その他返戻金) - 収入積立保険料
- ③ 収入保険料 = 元受正味保険料 + 受再正味保険料

## 2. 平成 16 年度資産運用状況

資産運用は銀行預金等の短期運用中心に行っており、運用利回りは 0.01% です。

カーティブ・アシュランス・リスク・デベロップメント

### 3. 貸借対照表

(単位：百万円、%)

期別 科目	平成15年度 (平成16年3月末現在)		平成16年度 (平成17年3月末現在)		比較増減
	金額	構成比	金額	構成比	
(資産の部)					
現金及び預貯金	685	85.4	463	80.9	△221
現金	0	0.0	0	0.0	0
預貯金	684	85.4	463	80.9	△221
不動産及び動産	53	6.6	48	8.5	△4
建物	39	4.9	36	6.4	△3
動産	13	1.7	12	2.1	△1
その他資産	63	7.9	60	10.6	△3
代理業貸	6	0.8	10	1.9	4
未収金	0	0.0	4	0.7	4
未収収益	0	0.0	0	0.0	0
預託金	45	5.6	36	6.4	△8
仮払金	4	0.5	1	0.3	△2
その他の資産	7	1.0	7	1.2	0
資産の部合計	802	100.0	573	100.0	△228

(単位：百万円、%)

期別 科目	平成15年度 (平成16年3月末現在)		平成16年度 (平成17年3月末現在)		比較増減
	金額	構成比	金額	構成比	
(負債の部)					
保険契約準備金	172	21.5	111	19.5	△60
支払備金	42	5.3	12	2.2	△29
責任準備金	129	16.1	98	17.2	△30
その他負債	185	23.2	37	6.5	△148
預り金	6	0.8	4	0.7	△1
未払金	179	22.4	18	3.3	△160
仮受金	-	-	14	2.4	14
退職給付引当金	33	4.1	52	9.2	19
本支店勘定	51	6.4	54	9.4	2
負債の部合計	442	55.2	255	44.6	△187
(資本の部)					
持込資本金	333	41.6	333	58.1	-
剰余金	26	3.2	△15	-	△41
当期未処理損失	△26	3.2	15	-	41
(当期純損失)	(△110)	-	(41)	(-)	(152)
資本の部合計	359	44.8	317	55.4	△41
負債及び資本の部合計	802	100.0	573	100.0	△228

(注記事項)

1. 不動産及び動産の減価償却方法及び減価償却累計額  
不動産及び動産の減価償却方法は定額法により行っております。なお、動産のうち取得価額が10万円以上20万円未満のものについては、3年間で均等償却を行っております。  
平成16年度末における不動産及び動産の減価償却累計額は27百万円です。
2. ソフトウェアの減価償却の方法  
その他資産に計上している自社利用のソフトウェアの減価償却方法は、利用可能期間に基づく定額法により行っております。
3. 退職給付引当金の計算基準  
退職給付引当金は、従業員の退職給付に備えるため、退職給付に係る会計基準（「退職給付に係る会計基準の設定に関する意見書」平成10年6月16日企業会計審議会）に基づく小規模企業等における簡便法を採用しております。
4. 消費税の会計処理方法  
消費税及び地方消費税の会計処理は、税込方式によっております。
5. 供託金  
保険業法第190条にて定めのある保険契約者保護のための供託に関しては、BNPパリバ銀行による銀行保証契約をもってそれに代わるものとしているため、貸借対照表上資本の部には表記されておりません。
6. 金額は記載単位未満を切捨てて表示しています。

## 4. 損益計算書

(単位：百万円、%)

科 目	平成 15 年度 平成15年4月 1日から 平成16年3月31日まで		平成 16 年度 平成16年4月 1日から 平成17年3月31日まで		比較増減	
	金額	増減率	金額	増減率		
経常 損益 の 部	経常収益	607	14.0	422	△30.5	△185
	保険引受収益	532	1.2	283	△46.9	△249
	正味収入保険料	513	△2.5	222	△56.6	△290
	支払備金戻入額	1	-	29	1495.8	28
	責任準備金戻入額	17	-	30	73.2	12
	資産運用収益	0	34.6	0	6.7	0
	利息及び配当金収入	0	34.6	0	6.7	0
	その他経常収益	74	1076.1	138	86.0	64
	経常費用	460	△4.6	426	△7.4	△33
	保険引受費用	143	△34.9	75	△47.5	△68
	正味支払保険金	17	30.7	19	10.4	1
	損害調査費	16	△46.3	28	69.8	11
	諸手数料及び集金費	109	△2.8	27	△74.4	△81
	支払備金繰入額	-	△100.0	-	-	-
	責任準備金繰入額	-	△100.0	-	-	-
	資産運用費用	-	-	-	-	-
営業費及び一般管理費	317	20.9	350	10.7	33	
その他経常費用	0	△62.1	0	139.7	0	
経常損失	△147	191.1	4	-	151	
特 益 の 損 部	特別利益	-	-	-	-	-
	特別損失	0	-	0	217.7	0
	不動産動産等処分損	0	-	0	217.7	0
税引前当期純損失	△146	191.0	4	-	151	
法人税及び住民税	36	74.8	36	1.6	0	
当期純損失	△110	271.6	41	-	152	
前期繰越利益	△84	△26.0	26	-	110	
本社送金	-	-	-	-	-	
当期未処理損失	△26	△130.7	15	-	41	

(注記事項)

- (1) 正味収入保険料の内訳は次のとおりです。
 

収入保険料	222 百万円
支払再保険料	-
差引	222 百万円
- (2) 正味支払保険金の内訳は次のとおりです。
 

支払保険金	19 百万円
回収再保険金	-
差引	19 百万円
- (3) 諸手数料及び集金費の内訳は次のとおりです。
 

支払諸手数料及び集金費	27 百万円
出再保険手数料	-
差引	27 百万円
- (4) 利息及び配当金収入の内訳は次のとおりです。
 

預貯金利息	0 百万円
-------	-------

- 金額は記載単位未満を切捨てて表示しています。

## 5. 債務者区分による債権およびリスク管理債権の状況

該当保有債権はありません。

## 6. ソルベンシー・マージン比率

(単位：百万円)

項 目	平成 15 年度末	平成 16 年度末
ソルベンシー・マージン総額 (A)	610	576
資本の部合計 (社外流出予定額及び繰延資産計上額を控除する。外国保険会社にあたっては供託金の額)	200	200
価格変動準備金	-	-
異常危険準備金	51	58
一般貸倒引当金	-	-
その他有価証券の評価差額×90% (マイナスの場合100%)	-	-
土地の含み損益×85% (マイナスの場合100%)	-	-
社員配当準備金	-	-
税効果相当額	-	-
払戻積立金超過額	-	-
外国保険会社等の持込資本金及び剰余金 (本店送金予定額を除く)	359	317
負債性資金調達手段等	-	-
控除項目	-	-
リスクの合計額 $\sqrt{\{R_1^2 + (R_2 + R_3)^2\}} + R_4 + R_5$ (B)	66	15
一般保険リスク相当額 R <sub>1</sub>	64	14
予定利率リスク相当額 R <sub>2</sub>	-	-
資産運用リスク相当額 R <sub>3</sub>	6	4
経営管理リスク相当額 R <sub>4</sub>	2	0
巨大災害リスク相当額 R <sub>5</sub>	-	-
ソルベンシー・マージン比率 $\frac{(A)}{(1/2) \times (B)} \times 100$	1828.3%	7277.6%

(注) 1. 上記は、保険業法施行規則第 161 条、第 162 条及び平成 8 年大蔵省告示第 50 号の規定に基づいて算出しています。

2. 「資本の部合計」は、保険業法第 190 条にて定めのある供託金に代わる銀行保証契約の契約金額を記載しています。